

## 国立大学法人愛知教育大学学長選考基準

2025年6月5日

学長選考・監察会議決定

愛知教育大学は、子どもたちの未来を拓くために、現代の教育諸課題に柔軟に対応できる教員及び教育を支援する優れた人材を養成し、我が国の教育の充実と社会の発展に寄与する使命を有している。

本学の学長は、この使命の実現を目指す大学の教育研究活動と経営の最高責任者として中心的役割を担う。そのため、人格が高潔で学識に優れ、多様性、公平性、包括性（DEI：Diversity, Equity&Inclusion）を重視した大学運営に全力で取り組む意欲と能力、強いリーダーシップを有することが求められる。これらを踏まえて、次のとおり選考基準を定める。

- 1 本学の人的・知的資源を最大限に活かしつつ、学内外から多様な人材を登用することにより、適切かつ効果的に教育研究活動を推進する高いガバナンス能力と社会の急激な変化を的確に捉えた長期的な視野に立った構想力を有すること。
- 2 学修者本位の教育への転換を推進しつつ、社会人、外国人留学生、障害のある学生など多様な学生の受け入れやきめ細かな支援の充実を図るとともに、学生との意見交換に努めて大学運営に反映させる等、学生とともに築く大学をめざす強い意志を有すること。
- 3 本学の財政基盤の整備に努め、予算・人事・組織編制等において戦略的な資源配分を行うとともに、効率的な予算の編成・執行やデジタルトランスフォーメーション（DX）を着実に推進する優れた経営能力を有すること。
- 4 我が国の学校教育の質の向上を目指して、教員及び教育を支援する人材養成の機能強化を継続的に推進するとともに、附属学校園における先導的・実験的な教育研究体制の強化を図り、教育の質保証と高度化に積極的に取り組む「教育の総合大学」としての大学づくりを推進する高い識見と実行力を有すること。
- 5 中部地域における「広域拠点型教育大学」として、人口激減や複雑化・深刻化する多様な教育課題に対応し、「現職教職員の高度な学び直し」の体制を充実させるとともに、積極的に地域に貢献する役割を果たす大学づくりに取り組む行動力を有すること。
- 6 本学の教育研究活動の成果を大学の内外に積極的に発信するとともに、ステークホルダーからの長期的な信頼・支持を得て、幼・小・中・高・特別支援学校等、地方公共団体、国の機関、国内外の大学や社会との連携協力体制を構築・強化させることができる優れた発信力と交渉力を有すること。